

夜間学校 ニュース

1986年11月14日
西成区萩之茶屋2の
8の9 旅路の里気付
釜ヶ崎夜間学校

在日朝鮮人・韓国人の
指紋押なつ拒否断固支持！
定住外国人に市民権を

一人でもシムプレヒコール

大阪府庁前で

先週の夜間学校ニュース

では、西成分会の一時金交
渉へ大阪府庁に行つたヤサ
んが、怒りの示威行動をお
こなつたことを紹介した。
その日の夜間学校に参加
したNさん・わし・今日
午前中、府庁前で一人でシ
ムプレヒコールやってきた
で、中で仕事してるものに
聞こえたかどうかわからん
けど、かまへん、意志表示

の一つセリと報告。

Nさんが、Yさんのこと
を知つて自分も示威行動を
しようと考えたのかどうか
は確認しなかつたが、いざ
れにしても、自分自身の考
えで、対行政抗議行動を實
行する仲間が二人もいた
ということは心強い。
もつとも、知らないうち
ろで、もつと多くの仲間が
自分自身の判断で行動をお

こしている可能性がある。
たのもし仲間も、もつと
もつとたくさんいる。

しかし、その一方で、そ
んなことして、なんになる
ぬんりと冷やかにながめて
いる仲間もいることだろう。
また、行政のやり方に怒
りをもちながらも、どう表
現したら良いか、思いつか
ないままに、抗議しても
なあ、とばくせんと思えて
いる仲間も多いこと思ひ。
行政に対する怒りは、個
人のものであると同時に、
釜ヶ崎日雇労働者全体のも
のでもある。

四月から七月に、毎年

繰り返される「アブレ地
獄」で青カンを余儀なく
される仲間は、そんな状
態を放置し続ける行政に
対して怒りを抱くのは当
然であろう。青カンを余
儀なくされる仲間は、運
の悪い一人や二人、とい
うわけではない。運の良
く悪いに関係なく、千人
二千人の仲間が青カンを
余儀なくされる。今まで
の経験者を含めると、一
体、何千人になるだろう
か。そして、来年の「ア
ブレ地獄」、そして、正

みんなで作ろう

みんなの会館

三人よれば何とかの知恵

釜ヶ崎夜間学校

毎週金曜日

夜七時より

市民館三階

日に、だが、青カンを命優な
くされるのであろうか。

大阪府労働部の無策、就労対
策事業の要求を何度も踏みにい

り結けてきた行政への怒りは、
個人のものであるとともに、釜

ヶ崎全体のものである。

怒りをあらわすにも、個人と
してあらわすせり方と、集団で

あらわすものがある。それは、
今、いったように、怒りが個人

のものであると同時に集団のも
のであるからだ。

個人の怒りの表現として、ヤ
つあたりがある。しかし、こ

れは怒りの対象、大阪府労働部
にとっては、あまりこたえな

い。怒りは、やはり、直接に、相
手に対して、それと判るかたち

であらわすべきだと考える。

Yさんや、Nさんの行動は、
大阪府に直接、抗議の意志を伝

えたものであり、評価できる。

(Yさんについていえば、彼自
身、府の職員を傷つけるつもり

は最初からなかったであらうし、
ヤも本意な結果になったと思

っているのであるまいか。)

YさんやNさんの行動は、個
人的なものである。しかし、二

人続いたことで、集団性をおび
ることになった。三人、四人、五

人と続けば、完全に集団の意志
表示のあらわれと受け取られる

ことにならざるう。釜ヶ崎の労
働者全体の意志表示として、

今年もまた、越冬闘争が継続
される。大阪市はまた今年も、

臨時宿泊所の減少をはかり、多
くの仲間を、野垂れ死に追いや

ろうとするだろう。越冬闘争は
仲間を防衛する闘いであると共

に、集団として怒りをつきだせ
るものでもある。今からそなえよう。

質問に答えて

夜間学校ニュースを配ってい
る仲間に、「あなた、なんでこ

んなことしてるん、あなたには
関係ないやろ」と声をかけた仲

間がいる。

たしかに、夜間学校ニュース
を配っているのは、釜の日雇労

働者ではない時の方が多。で
は、何ものなのか。なぜ、毎週

金曜日、夜間学校のニュースを
配りに、センターにあらわれる

のらうか。

釜ヶ崎の労働者のかかえる問
題は、釜の労働者にだけかか

るものであり、ヨソ者には
全く関係のないことであらうか。

確かに、釜ヶ崎の労働者のか
かえる問題について、一番自分

にしめて知っているのは、当の
釜の仲間であらう。そして、そ

れをハネ返すべく闘うのも、
釜の労働者でなければなしえ

ないことだ。

座して待つているだけでは、
だれも手助けしてくれない。

釜ヶ崎の労働者が闘って
る時にこそ、援軍があらわれ

る。

釜の越冬闘争は、一九七〇
年の暮れから始まった。

また、暴行手配師追放の闘
争が始まってからにしても、

十年以上の月日がたっている。
一九六一年のオ一ツ釜ヶ崎

暴動からは、何年かたってい
るだろうか。

そういつた釜ヶ崎の労働者
の闘いを見、聞き、その闘

いに合流しようという人も増
えてきた。そして、長く釜に

くる人も。そういつた人は、
仲間として、おかえりすべきは

仲間として、おかえりすべきは

仲間として、おかえりすべきは

仲間として、おかえりすべきは

仲間として、おかえりすべきは

仲間として、おかえりすべきは

仲間として、おかえりすべきは

仲間として、おかえりすべきは

仲間として、おかえりすべきは

仲間として、おかえりすべきは

仲間として、おかえりすべきは

仲間として、おかえりすべきは

仲間として、おかえりすべきは

仲間として、おかえりすべきは

仲間として、おかえりすべきは

仲間として、おかえりすべきは

仲間として、おかえりすべきは

仲間として、おかえりすべきは

仲間として、おかえりすべきは